

患者ID:@PATIENTID

2015.6.3作成

@PATIENTNAME 様

胃化療(サイラムザ)

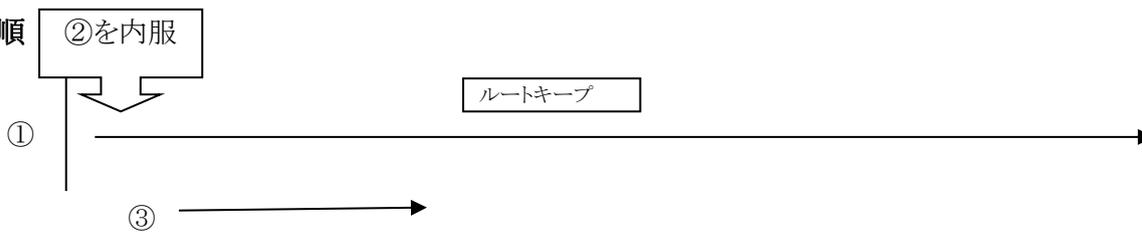
指示者	@USERNAME
コース数	

身長	HEIGHT01_D	cm	
体重	HEIGHT01_D	kg	
体表面積	#VALUE!	m2	(DuBoisの式)

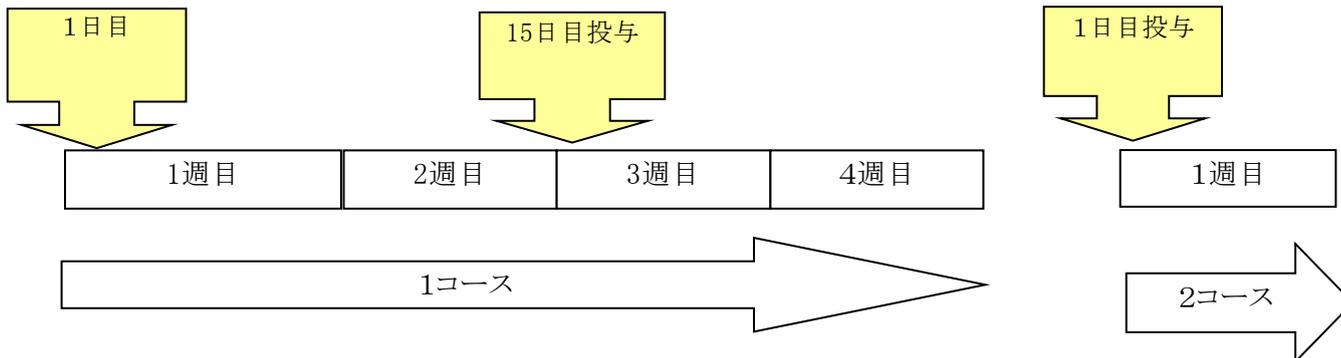
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	day1	day15
①	生理食塩水100mL	ルートキープ	点滴		
②	レスタミンコーワ5錠		内服		
⑤	生理食塩水250mL サイラムザ 8mg/kg ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分	点滴		

投与手順



スケジュール



注意

Infusion Reactionに注意
 消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延の副作用あり。
 高血圧、蛋白尿に注意

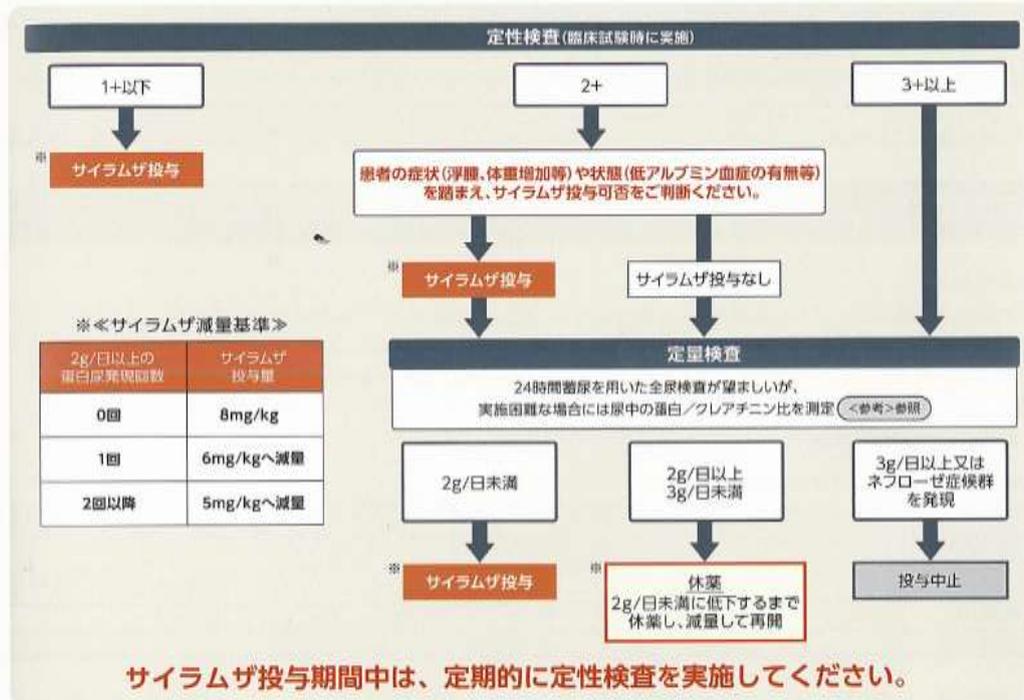
治療成績

REGARD試験

OS Ram vs BSC 5.2ヶ月 vs 3.8ヶ月

PFS Ram vs BSC 2.1ヶ月 vs 1.3ヶ月

〔尿蛋白検査及び蛋白尿発現時の対処方法〕



〔参考〕尿中の蛋白/クレアチニン比¹²⁾

随時尿の「尿蛋白/クレアチニン比」は、以下により求めることができます。

$$\text{尿蛋白/クレアチニン比} = \frac{\text{随時尿の尿蛋白定量結果 (mg/dL)}}{\text{尿中クレアチニン濃度 (mg/dL)}}$$

「尿蛋白/クレアチニン比」のポイント

1日尿蛋白排泄量 (g/日) とほぼ等しい、もしくはよく相関することが知られています。
 尿蛋白/クレアチニン比が 0.3~0.5 の場合、尿蛋白排泄量は 0.3~0.5g/日程度と推定できます。

● Infusion reaction 発現時の対処方法

サイラムザ投与により infusion reaction があらわれた場合には、副作用の症状、程度に応じて以下の対処方法を考慮してください。

(Infusion reaction 発現時のサイラムザの対処方法)

